

〔様式 1〕

事務事業評価表

記入年月日	平成16年4月21日			
平成16年度	事業コード	12310	電話	5615
担当部課名	保健所	地域保健	課	成人保健企画 班
事務事業名	在宅ケア連携事業			
予算上の事務事業名	在宅ケア連携事業			

1 総合計画における位置づけ

政策名	第 2 章	生涯にわたる健康づくりを進めます	事業開始年度
基本施策名	第 3 節	市民医療の充実	元 年度
施策名	第 1 施策	地域医療体制の充実	

2 実施根拠及び関連法令等

相模原市医師会在宅ケア対策事業補助金交付要綱

3 事務の区分

自治事務

4 経費の区分

その他の経費

5 事務事業の分類

市単独事業

6 受益者負担

なし

7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか	(2)対象(誰、何)
市の高齢化が急速に進み、在宅においても医療を受けながら生活する人が増加している。また、医療の高度化により高度医療を受けながらの在宅療養も多くなっている。そのような社会状況において、在宅医療の充実や病院と地域医療（診療所、訪問看護ステーション等）との連携体制の確立は、安心して在宅療養する上で重要である。誰もが安心して在宅療養を送ることができるよう医療体制を整えたとともに在宅医療にかかわる人の質の向上を図ることを目的とした事業である	市民、医療機関、在宅療養にかかわる人
	対象数 単位
(3)平成15年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容	
補助金交付事務	
(4)個別計画の概要	概要
計画名	
計画年次	年度～ 年度

8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

16,17年度は目標値

成果指標	指標名	指標式・指標の単位	指標設定の意図	指標の推移(年度)				
				13	14	15	16	17
活動指標	在宅ケア連携室相談件数	件数	在宅ケア連携室の利用状況から必要性を把握する	211	310	407		

9 事業費等の年度別状況

〔金額単位：千円〕

事業費	項目	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度
		決算	決算	決算(見込み)	予算	予算(見込み)
	決算(予算)額	6,000	5,895	4,295	4,184	4,184
	人員・時間数	1人・150H	1人・150H	1人・15H	1人・15H	1人・15H
	人件費	6,040	6,040	59	59	59
	その他経費					
	合計	12,040	11,935	4,354	4,243	4,243
	特定財源					
	対象数(--)					
	単位あたり経費(円)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

10 個別評価(担当課による一次評価)

(1)達成度 評価 A ▼	A:達成している	チェック項目	・成果指標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	B:一部達成していない		・活動指標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	C:達成していない		・事業目標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
		説明	市民、医療機関に対する相談業務だけを見ると、件数は毎年100件の伸びがあり利用状況はあがっている。
(2)必要性 評価 A ▼	A:適応している	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっている
	B:一部適応していない		<input checked="" type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している
	C:適応していない		<input type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない
		説明	<input type="checkbox"/> ・国、県、民間、市民との役割分担から見て、市が事業を行う必要がある 市民が個々に往診医や入院先を探すのは負担が大きくいつでも相談できる在宅ケア連携室の必要性は大きい
(3)有効性 評価 A ▼	A:有効である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である
	B:一部有効でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている
	C:有効ではない		
		説明	対象者の状況を十分把握し、適切な対応をするためには、市内の医療情報を熟知するとともに専門的な知識も必要となるため医師会での設置は非常に有効である
(4)効率性 評価 B ▼	A:優れている	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている
	B:一部改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている
	C:改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている
		説明	<input checked="" type="checkbox"/> ・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない 相談人数だけでみると効率的ではないように思われるが、相談が頻繁になくても専門に対応できる職員が常に相談を受ける体制を保つ必要がある。
(5)公平性 評価 A ▼	A:公平である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である
	B:一部公平でない		<input type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である
	C:公平でない		<input type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)
		説明	市民も医療機関もすべての人が活用できる体制である
(6)成果の向上及び費用対効果を高めるための方策		(7)今後の課題となっていること	
医療情報のネットワーク化により、効率的に医療機関紹介ができる		医療機関及び市民からの相談に迅速に対応していくため市内の医療情報のネットワーク化を図る	

11 総合評価(担当課による一次評価)

評価	AA ▼	他自治体の類似事業との比較
今後の進め方		
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	
<input type="checkbox"/>	見直し	
<input type="checkbox"/>	完了・廃止	
<input type="checkbox"/>	完了(廃止)済	
		総合評価に関する説明
本事業は、相談対応だけでなく、病診連携在宅ケア委員会を設置し、在宅での高度医療化に向けての検討、支援、研修会の実施や地域医療情報化推進事業等市民が在宅療養生活を安心して送ることができるよう体制づくりも含め実施している。在宅療養を進めるにあたり医療機関の体制整備は欠かせず、市内医療機関の中心である医師会が実施することで、スムーズな事業展開が可能である。市内の地域医療の質を高めるためにも重要である。市民への周知は、医療機関、在宅ケアセンター等関係機関にチラシを置くなど機会をとらえ実施しているが、今後も積極的にPRしていく必要がある。		

12 二次評価コメント(行政評価会議による二次評価)

<今後の進め方:見直し> 相談件数が少なく、費用に対して効率が悪いことから、他の相談事業との統合などを検討すべきである。
--